

新規事業採択時評価結果（平成30年度新規事業化箇所）

事業の概要

事業名	スマートICアクセス 村道滝上北線	事業区分	地方道	事業主体	長野県筑北村
起終点	自：長野県 筑北村 至：長野県 筑北村	延長	1.0 km		

事業概要
村道滝上北線は、長野自動車道に直結で整備するスマートICへのアクセス道路であり、地域の活性化等を目的とし、スマートIC整備と併せて延長約1.0 kmを整備するものである。

事業の目的、必要性
筑北村の中心地は長野自動車道の安曇野ICと麻績ICの中間付近にあたり、病院などへのアクセスは国道403号を利用しているが、災害や事故により通行ができず大きく迂回をするなどの負担が生じている。当該事業の整備により、輸送時間の短縮による物流の効率化が図られ、筑北スマートIC周辺における救急医療分野の環境改善が期待され、災害時の緊急支援活動の強化が図られる。

全体事業費 約8億円 計画交通量 700台/日



関係する地方公共団体等の意見
・工業団地の民間企業から早期開通を要望されている。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・事業実施が妥当である。

事業採択の前提条件
費用対便益 : 便益が費用を上回っている。
手続きの完了 : 村道認定（H30.12）

事業評価結果

担当課 : 道路局 環境安全・防災課
担当課長名 : 野田 勝

費用対便益	B/C	1.4	総費用 32億円 [事業費 : 24億円 維持管理費 : 8億円]	総便益 45億円 [走行時間短縮便益 : 36億円 走行費用減少便益 : 7.5億円 交通事故減少便益 : 1.3億円]	基準年 平成30年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.3 (交通量-10%)		B/C=1.5 (交通量+10%)	
		事業費変動	B/C=1.3 (事業費+10%)		B/C=1.5 (事業費-10%)	
		事業期間変動	B/C=1.4 (事業期間+20%)		B/C=1.4 (事業期間-20%)	
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	注目すべき影響はない		
		事故対策	○	唯一の幹線道路である国道403号の急カーブや急勾配での事故の減少に寄与。		
		歩行空間	-	注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	○	第2次救急医療施設までの救急搬送時間短縮が図られ、村から安曇野方面への通勤が容易となることよって、定住人口の増加に寄与。		
		地域経済	◎	工業団地を造成中であり、工場から高速道路へのアクセス時間の短縮が見込まれる。また地域の雇用創出に寄与。		
		災害	◎	土砂災害の多い地域であるが、高速道路から村の中心地へ直接物資等の輸送が可能となり、緊急輸送道路ネットワークが強化。		
環境		-	注目すべき影響はない			
地域社会	○	サッカー場などスポーツ施設や温泉施設を利用する交流人口が増加し、周辺の観光周遊性が向上。				
事業実施環境	○	・連結許可 : 平成30年8月10日 ・都市計画決定 : 都決不要 ・工業団地の民間企業から早期開通の要望を受けている。				

採択の理由

事業主体である長野県筑北村が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.4と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。また、地域の活性化、緊急輸送道路ネットワークの強化が図られるなど、当該事業の整備の必要性、効果は高いものと判断される。
以上により、本事業は平成31年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。